

メーサイ市から高校長と看護師が来日

タイのメーサイ市から、メーサイ高校のプラソン・プロムシット校長とメーサイ病院の看護師、ソムスリ・サンプラパナントさん、ジーラポン・バンスクさんが来日しました。5日は、結城市役所を訪れ、前場文夫市長を表敬訪問しました。

プラソン校長は、数学教師で夫人のノングルックさんと息子のエッカウィットさん、数学教師で親戚のナリンラク・ケウカードさんとともに、11月1日に来日しました。プラソン校長は、メーサイ市から車で約2時間ほどのパヤオ県のパヤオ高校に赴任することが決まり、10月にメーサイ高校で離任式が行われたといひます。

プラソン校長は「パヤオ高校でも日本語学校を作りたい。ぜひパヤオにも来てください。何かあればすぐに駆けつけます」と前場市長に話していました。4日に行われた城西病院グループの歓迎会では、多田正毅理事長からプラソン校長に感謝状が手渡されました。

7日は、生徒たちが相互に訪問して交流を深めている結城一高を訪問しました。寺内眞由美校長らと、相互交流した生徒たちや両国の高校についてひとしきり語り合い、タイにショートステイした生徒たちとも再会しました。この夏には、結城一高からショートステイの生徒たちを派遣する予定でしたが、クーデターが勃発したために中止となりました。プラソン校長は「夏に生徒が来れなくて残念。今は安心できる状態で、これからも交流を深めたい。パヤオ高校でも日本を知る活動を活発にしたい。ぜひメーサイやパヤオに来ていただきたい」と話していました。一行は8日に帰国しました。

日本の医療事情の視察に訪れたサンプラパナントさん、バンスクさん2人の看護師は、4日に来日しました。サンプラパナントさんは、感染症のエキスパートの看護師としてメーサイ病院に勤務。リーダー的な役割を果たしています。バンスクさんはメーサイ病院で産科を担当。



プロムシット校長夫妻と前場文夫市長、ソムスリ・サンプラパナントさん、ジーラポン・バンスクさん

新生児蘇生術を取得し、産科で救急蘇生や母子の愛情形成指導など幅広い分野で活躍しています。2人は、小児科や手術室、外来病棟、回復リハビリ病棟、療養病棟などを視察。12月1日までの予定で城西病院を中心に日本の医療を学び、12月3日に帰国する予定です。

平成26年11月8日



小児科でエコー検査を学ぶ2人



プラソン・プロムシット校長に感謝状を手渡す多田正毅理事長



結城一高の寺内眞由美校長やタイにショートステイした高校生たちとともに